

令和 6 年 6 月 2 8 日
 総合政策局環境政策課

「先導的グリーンインフラモデル形成支援」の重点支援団体が決定しました

国土交通省では、「先導的グリーンインフラモデル形成支援」の重点支援団体として、グリーンインフラに取り組む地方公共団体 4 地域を決定しました。

重点支援団体に対しては、コンサルタントや専門家の派遣等を通じて、計画づくりや推進体制の構築等を支援し、グリーンインフラの実装を加速します。

○重点支援団体（北から順）

団体名	取組概要
横瀬町 (埼玉県秩父郡)	町のシンボルである武甲山や寺坂棚田などを含めた町全体が、人と自然が調和し共存するエコシステムとなることを目指し、横瀬駅を含めたまちなかエリアに産学官民が交流・共創できるグリーンインフラ推進拠点を整備する。  寺坂棚田と武甲山
さいたま市 (埼玉県)	樹木及び農地等におけるグリーンインフラの機能に着目した評価指標、民間企業のノウハウを生かした測定方法を立案するとともに、公園や緑地、農地などを対象にグリーンインフラの持つ機能の可視化を試行する。  鐘塚公園の樹木プロット図
杉並区 (東京都)	雨水流出抑制対策をはじめ幅広い分野での課題解決の手法として、グリーンインフラを活用・実装していく視点を職員に浸透させ、担当している事業の解決策のひとつとして実感できるような研修プログラムの企画・運営に取り組む。  みどりを活用するイメージ
熊本県	「熊本県地下水保全推進本部」のもと、流域全体で地下水涵養域の維持に向けた検討を進める。多岐にわたる関係者の共通理解を深めるため、事例研究や技術情報の展開を目的とした勉強会を企画・開催する。涵養域の維持に向けた取組を継続的に実施するため、柔軟な資金調達手法について検討を行う。  雨庭（熊本県立大学）

○別紙

令和 6 年度先導的グリーンインフラモデル形成支援 概要

＜問い合わせ先＞

総合政策局環境政策課 担当：高森、鎌田、瓜生

TEL：03-5253-8111（内線 24422、24332）、03-5253-8262（直通）